



第40号
 編集発行所
 〒990-2492
 山形市鉄砲町一丁目15-64
 山形県立山形西高等学校
 嚶鳴同窓会
 電話 023-641-3504



会長 武田 美津子 (昭和39年卒)

高き理想を掲げて

山形西高等学校を訪れると西高カラーを背景に《高き理想 清き矜持 かたき誓ひ》ああひかりはここに》の言葉が掲げられています。私は、西高を訪れるたびに、いつまでも変わることも無く嚶鳴精神が受け継がれていってほしいという想いで足を止めます。

生徒数の減少で、山形県の公立高校は統廃合や定数減が加速していくことが予想されます。来年度は、女子だけが在籍する高校は山形西高等学校1校になりそうです。

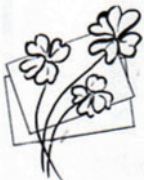
数年前のアンケート結果、75パーセントの生徒は女子だけの学校で充実した生活をしていることがわかりました。しかし、ライフサイクルの

変化、生き方を自己決定し選べる時代は女子の高校選択理由も多様化し、西高の教育は大きく変わってきております。女子を教育する学校から、自分の人生を切り開く力を培う学校へと。

「志教育」「山形が大好きな西高生」を謳い、一人一人の持つ個性と自主性を伸ばし「人間としてより充実した人生を送れる資質を掘り起こす教育」をされていることは、先生方の熱意でも感じられます。夜遅くまで明るい校舎や、休日にもかかわらず多い駐車場の車の数。そして、笑顔と生き生きと取り組む西高生の姿に表れております。

社会の動向によって期待される女性像が左右されやすいのですが、変化に対応し、自分を発揮できる女性を送り出す学校であるといえます。

『男子の反応を気にせずに、女子だけで何でもやらなければならぬ。男女の役割に縛られずに自由を育んでくれる米国では男女別学の方が能力が伸びると見直され、別学が増えている』(2014.2.2 日経新聞)の記事を読み、全国的に見ても女子だけ学ぶ公立高校は40校と減少しているのですが、山形西高の将来に期待しています。



大きな夢の実現を目指して

校長 吉田 敏明

嚶鳴同窓会の皆様には日頃から母校のために多大なる御支援と御協力を賜り深く感謝申し上げます。校長の吉田敏明と申します。

西高に赴任しての印象として、校歌を歌う歌声が素晴らしい、きれいである。挨拶がよい、校内での挨拶がとてもいい。朝が早い、7時30分にはほとんどの生徒が登校して勉強している。そして、何事にも全力で取り組む西高生たちである。おそらく皆さん先輩方から受け継いだ伝統なのでしょうと思えます。

朋友師弟の親睦友愛の心と切磋琢磨する心を象徴する「嚶鳴精神」は変わらなく続いてい

ます。嚶鳴精神を基本にしながら、教育目標を「思いやりと志を持って山形が大好きな西高生を育てる」と定めて3年目です。他の人の立場に立つて考えることができる思いやりの心、高い志を持つて自分の夢を追い求められる行動力、そして常に山形のことを考える郷土愛を持った生徒を育てたいと考えています。

現在、西高は、県教育委員会から「進学指導重点校」の指定を受けて、難関大学にも挑戦していく生徒を育成するために様々な事業を展開しています。「西高リケジョプロジェクト」、理系生徒の進路拡大を目指す「英語の「スピークアウト事業」

の取り組みなどがその例です。今年も生徒たちは様々な場面で大活躍をしています。登山部、なぎなた部、テニス部が南関東でのインターハイに出場します。新聞部、写真部、弁論部、放送部が茨城県での全国高等学校総合文化祭に出場します。その他、各部ともに様々な大会やコンテストに出場し表彰を受けています。また校友会活動やボランティア活動にも熱心に取り組んでいて、西高の名を大いに高めてくれています。

皆様には、今後とも変わらぬ御支援をよろしくお願い致します。



平成26年度 総会のお知らせ

- 大勢の方のご参加をお待ちしています。
- とき 11月16日(日) 午前10時30分開会
 - ところ パレスグランデール (山形市荒瀬町一丁目17-40)
 - 会費 5,000円
 - アトラクション ソプラノ独唱 飯島 香織(平成6年卒)
 - チケット購入のお問合せ TEL 080-9631-6574 (同窓会総会当番学年/チケット担当)

嚶鳴の歴史 脈々と

平成25年度 嚶鳴同窓会総会

平成25年11月17日(日)パレスグラウンデルに於いて嚶鳴同窓会が開催されました。当日は、総勢510名の皆様にご出席いただきました。

総会は、武田美津子会長、阿部和久校長(当時)のご挨拶で始まり、議事は清野和子副会長の進行の下、厳正に滞りなく進められました。

引き続き行われた祝賀式典では、恩師の工藤文雄先生から、当学年の在学当時の思い出や近況を話していただき



武田美津子会長のご挨拶

ました。当時と変わらない力強いお姿と声に、西高生として過ごした日々が甦りました。東京支部の笠井ひで子支部長からは、エクササイズを取り入れた、とても楽しい東京支部総会の様子などをお話いただきました。

続いて、吉村美栄子山形県知事から頂戴した祝電が披露されました。

この度祝賀を受けられた方は、米寿8名、喜寿67名の皆様でした。米寿代表の古田久子様は「アクティブ85」についてお話をくださいました。それは、85歳で自ら進んで社会参加、社会貢献できること。そのためには健康が大切で、原点は家族がそろった食事とお聴きしました。西高第1回

卒業生、喜寿代表の佐藤伶子様からは、「西高」という名前が付き、新しい校歌ができて制服もリニューアルしたところのお話を伺いました。総会には卒業生の三分の一の皆様がお集まりで、60年前に植えたアカシアの木をご覧になった後、一緒に温泉にいらっしやることでした。お二人には、内面から滲み出る、女性の真の美しさをお示しいただきました。



日本舞踊・藤間松廣さん藤間孝松さんと地方・吉住小登江社中のアトラクション

祝舞ののち、黒田聖司西高元校長のご発声による乾杯で祝宴となりました。今年のアトラクションは、昭和50年卒業の須藤泉さんと藤間松廣さん、そして松廣さん門下で同じく50年卒業、渡辺真理子さんと藤間孝松さんによる日舞です。また、

地方に荒井光子さんこと吉住小登江さんを迎え、華やかでしつとりしたアトラクションとなりました。総会の最後には嚶鳴合唱団の美しい歌声に合わせ、全員で校歌を斉唱して閉会となりました。最後にありますが、「志田周子の生涯を銀幕に蘇らせる会」そして「東日本大震災への募金にご協力いただいた皆様にお礼を申し上げます。皆様方の温かいご支援とご協力により、平成25年度の同窓会総会を終えることができました。担当学年一同、心から感謝いたしております。(昭和50年卒 柴田依子)

嚶鳴の絆を感じて

嚶鳴同窓会東京支部

6月8日(日)、ホテルオークラ東京にて平成26年度嚶鳴同窓会東京支部総会が開催されました。当日は275名の参加者にお集まりいただきました。来賓祝辞では今年から山形西

高の校長先生を務めていらつしやる吉田敏明先生より現西高生の多様な活躍をお聞きしました。また招待恩師の志田やす子先生からは、はつらつとしたお声で、農作業の合間に畑で踊る時があるとうかがい、私達も元気をいただきました。エンターテインメントは講

演と東京嚶鳴女声合唱団の2本立てでした。講演は「現代の食事はミネラル不足! 新型栄養失調」というタイトルでNPO法人「食品と暮らしの安全基金」から中戸川貢先生にお越しいただき、大変興味深いお話を聞きました。また、東京嚶鳴女声合唱団の歌声は美しく、ピアノソリの町田百合絵さんのピアノソロも圧倒されそうな演奏でも感動しました。山形を懐かしみ、語り合った時間もあつという間に過ぎてしまいました。準備学年の



昭和62年卒の皆さん

時代背景が語りつがれる総会

嚶鳴同窓会寒河江支部

第8回寒河江支部総会が平成25年10月6日、グラウンデル寒河江で開催されました。高齢になられ、お宅ではお元気に過ごされながらも足腰が不安でと出席が叶わない会員さんも徐々に増えられ、また

にさらされて過ごした日々や、学校が焼失し苦勞された事など貴重な体験をお聞きできるのも同窓会ならではの事です。今後も語り伝えていただきたいと願ひ、若い方々の出席を改めて望む所です。旧校歌と西高校歌を歌いつがれるのも感無量です。今回は米寿になられたお二人が元気に出席。花束を贈呈し、皆

戦時中、大先輩達が学徒動員にかり出され、学業などほとんど出来ず明日の命の危険

なで祝福しました。多方面でご活躍の渡部泰山様からご講演をいただいたほか、ゲーム



山形大学大学院教授・渡部泰山さんを囲んで

「つながる、つながる」

一昨年から生徒有志で募り、宮城県石巻市でボランティア活動を行っています。東日本大震災以降、未だ仮設住宅で生活をされている方々と交流を深めながら、自分達にできることを毎回考えながら活動しています。



活動は、主に午前中は畑作業や小中学生への学習支援を行い、午後は交流会で簡単なゲームや歌の合唱を行い、仮設住宅で暮らす方々とお話をさせてもらって来ました。何力所も一回だけ訪れる団体は数多くても、一力所に何回も訪れる団体は珍しいようで、回数を重ねることに仮設住宅の方々と西高生の間に深いつながりが生まれていきました。

昨年6月にボランティアに訪れた際に、いつも来てくれる西高生へと、住民の方がブレゼントを用意してくれていました。それは和太鼓集団「族(やから)」の力強い演奏でした。東北を中心とした様々な復興活動しながら、震災で生じた瓦礫を楽器として再生し演奏しているそうで、先日山形で開催された東北六魂祭にも出演しています。昨年の嚶鳴祭でも全校生に向けて演奏とメッセージをもらい、そこからの繋がりで、今年度新たに「青い鯉のぼりプロジェクト」に参加しました。



ボランティア自体の始まりも当時のPTA会長だった遠藤正明さんに多くの支援をしていただいていた、ここまでは継続して行くことが出来ました。一人ではできない活動も西高全体で取り組むことによつて、大きな力と新たな繋がりが生まれました。まだまだ復興への道半ばという中で、自分達にできることを継続してこれからも活動していきたいと思えます。

平成25年度

在校生の活躍

<インターハイ>
登山部 第3位 大槻 瑠美・犬飼 美香 庄司 葵・鈴木 陽子
なぎなた部 演技競技出場 酒井 亜実・半沢美保子
硬式テニス部 個人シングルス出場 清水 優
サッカー部 ベスト16

<国民体育大会(東京都)>
新体操部 山形県選抜チーム出場 菊地 詩乃
なぎなた部 試合競技出場 酒井 亜実・半沢美保子

<全国高校選抜大会>
なぎなた部 個人試合出場 半沢美保子

<全国高等学校総合文化祭>
新聞部 安達 和叶・秋葉 成美
美術部 武田可奈子
放送部 加藤 志織 朗読部門優秀賞
井 諭 大石真衣子

平成26年度

<県高校総合体育大会>
卓球部 シングルスベスト12 矢作 礼奈 東北大会出場
陸上競技部 400mH 第2位 峯田 麻美 5000mW 第4位 柴田 麻貴 4×400mR 第4位 4×100mR 第5位 走幅跳 第5位 浅田 晴香 以上東北大会出場

登山部 最優秀(インターハイ出場)
バドミントン部 団体第3位
新体操部 団体第3位
水泳部 200m個人メドレー 第1位 片桐まどか 400m個人メドレー 第2位 片桐まどか 400m個人メドレー 第4位 加藤 瑠菜 100m平泳ぎ 第4位 會田 莉子 200m平泳ぎ 第4位 會田 莉子 (水泳部全員東北大会出場)

なぎなた部 団体試合 第2位 (東北大会出場) 演技競技 第2位 稲垣 綾夏・半沢美保子 (インターハイ・東北大会出場) 個人試合 第3位 鎌上 瑞穂 (東北大会出場)

テニス部 団体 第3位 (東北大会出場) シングルス 優勝 清水 優 (インターハイ出場)

<東北高等学校総合体育大会>
陸上競技部 400mH 峯田 麻美 準決勝進出 5000mW 柴田 麻貴 出場 走高跳 浅田 晴香 出場 4×100mR 出場 4×400mR 準決勝進出
卓球部 シングルス 矢作 礼奈 出場
なぎなた部 団体試合 予選リーグ2位 演技競技 稲垣 綾夏・半沢美保子 ベスト8

テニス部 団体 ベスト8 シングルス 優勝 清水 優
水泳部 400m個人メドレー 第9位 片桐まどか 400mフリーリレー 出場 400mメドレーリレー 出場 個人 9種目出場

<山形県放送コンテスト>
アナウンス部門 佐藤 絵菜・鈴木 文乃・奥山祥祐理
テレビドキュメント部門 高橋 瞳・横沢 美玖・武田 美沙 山口のぞみ 以上全国大会出場

全校合唱 「私とあなたとみんなの歌」

毎年、6月の創立記念式典の後に行われる校内合唱コンクールでは、6年前から審査発表前の全校合唱で「私とあなたとみんなの歌」が歌われます。

歌の由来
昭和33年1月18日に始まった校内合唱コンクールは、昭和37年から創立記念日である6月25日に行われるようになりました。これまでも「西高三大行事」として、クラスの団結・融和と西高文化の継承としての役割を担ってきていますが、コンクールという特性から、生徒全員で思いを共有することが難しいという側面もありました。

そこで平成20年、第50回の合唱コンクールを記念し、全員で歌える「テーマソング」を創作することになりました。歌詞を生徒から公募したところ8編が寄せられ、校長、同窓会長、卒業生代表などからなる審査員により、この「私とあなたとみんなの歌」が選ばれました。作曲家小林康浩氏に曲を依頼し、平成21年1月29日に完成。同年2月27日作品の発表を行いました。

この曲は、西高ホームページで公開しています。音楽部が歌っているものを聞くこともできますので、ぜひご覧ください。
西高ホームページ <http://yamainishiwebpage21a.jp/>

私とあなたとみんなの歌
作詞 阿部 風香(平成21年卒)
作曲 小林 康浩

長い旅の途中で 迎り着いたのは
私に居場所があることを
教えてくれた 新天地
私が今生きていること
証明しよう この場所
言葉と並べただけじゃ
伝えきれないから
音にのせて 私を歌うよ
ここに私がいたことを
いつか私が思い出するため

(以下略)



今年初めての真夏日となった5月の午後、木村宰先生をお訪ねしました。先生のお住まいは山形市中心街にあるマンションの最上階にあり、エレベーターを降りると笑顔の御夫妻に迎えられる。めずらしい種類のクレマチス等の鉢植えや沢山の花々が玄関やお部屋の窓辺を飾り、かぐわしい花の香りが周りを包んでおりました。

先生は昭和35年に東京教育大学を卒業され、国語の教師として最初に赴任されたのが西高で

「西高は優秀な学校だとみんなが知っており、本当に俺でいいのかなあ……と、どきどきしながら緊張していたね……。生徒達はきちんとしていて教えやすく、授業は楽しかったが、当時は経験や知識も少なくあんな授業でよかったのかなあ……と、思っている。今だったらもっと別の授業が出来たのだが……。」と話されました。

当時は担任二人制で昭和37年卒の3年4組が初めての担任、一緒に担任をした先生のニックネームの話から当時は個性豊かな先生が多く、ほとんどの先生方にニックネームがついていて生徒はニックネームで先生方を呼んでいた事等、奥様の洋子先生も一緒に当時の先生方やなつかしい思い出話に花が咲きまし

恩師を訪ねて

「身健心豊」で若々しく

木村 宰 先生
(昭和35年4月〜40年3月在職)



た。また、文芸部やバドミントン部の顧問をされた先生は、同窓生との交流も深く、出版された本のこと、県総体の事等話題はつきませんでした。

先生は西高から東高、県教委等歴任され、教育長も務められました。教育界に貢献されたことで平成21年に瑞宝章を授与されました。

また、保健所の敷地に建つ「女子師範学校、山形高等女学校、同附属小学校・幼稚園跡」の碑があります。西高OBの先生から声がかかり裏の碑文の原稿を先生が書かれたとのこと。 (ち板垣清一郎氏の筆による)

ヨーロッパやカナダ等の旅行を楽しまれ、今は国内の旅を楽しんでいるとのこと。3・11の震災後、訪れた宮城県多賀城市の「末の松山」は、津波が越さない所として平安時代の都人にも知られ「百人一首」にも歌われた歌枕。小高い丘に立つ松の姿はすばらしく、人々は植樹をしよう百年と松を守ってきたこと等お聞きし、時の流れと自然の営み等不思議な驚きを感じました。また昭和41年卒の後藤桂子さんに北海道の広大な農地等を案内してもらった話等も伺いました。



木村先生が描かれた水彩画「晩秋夕照」

先生は小中学校や東高の同期生との交流も深く、特に東高の方達とは毎月親睦会をやっている、喜寿で「記念誌六翠会」を発刊した話の中で、その記念誌に、西高でも教鞭を執られ、同窓会長もされた大宮文子先生の思い出を書かれたとのこと、東高同期の方々と、恩師大宮先生の古典の授業の再現を企画し、先生にお願いして「源氏物語」の講義を、再び受けることができたことなどを、懐かしそうに語ってくださいました。大宮先生は先生にとって同郷であり恩師であり同僚でもあり、格別の想いがあったようです。大宮先生のご葬儀では、弔辞

を捧げられた話もして下さいました。

現在先生は「身健心豊」を生活目標とし、集会所で碁を楽しみ、奥様と一緒に健康増進センターで身体を鍛えたり、同じ絵画教室で先生は水彩画、奥様は水墨画を学ばれているとのこと。作品を見せていただきましたが、思わず絵の世界に引き込まれてしまいました。お二人は国民文化祭全国大会や、ねんりんピック等にも出品されているとのことでした。

お二人はとも若々しく、友達のような素敵な御夫婦で、その余韻に浸りながら帰路につきました。

(訪問者)
昭和37年卒 古瀬 孝子
昭和46年卒 青木 智子

道木並

昭和63年卒 武田靖子

大学を卒業し東京のあるホテルに就職した。最初に配属されたのはクローク。ロビーの片隅にあるカウンターで手荷物を預かる役目だった。毎日ひたすら荷物を預かる。時々名規模の宴席があるときは、ぐるぐる表と裏を行ったり来たり。いつかカウンターでとけてしまうのではと思うほど目が廻るのだった。毎日が立ち仕事の繰り返し。お客様がいない暇な時間ほど苦痛なものではなかった。

しかしそんな中で、突然様々なお客様がいろいろなことを尋ねてくる。「近くに〇〇はないか?」「ちよつと困っている」……。その質問に的確に答えるべく、クロークには代々先輩方が残してくれた優れたマニュアルがあった。いつどこで聞かれるか分からない質問について、様々な答えが延々と綴られている。ただの荷物預かり係だが見えぬ仕事が付加価値を生むと学んだ。

次に与えられた役目はロビーの案内係であった。まず初めに500名以上のVIPリストを覚えるよう言われた。眼鏡を掛けた年配の男性の顔は皆同じように見えた。また日経新聞や「財界」、「経済界」といった雑誌を隈なく読むことも仕事のひとつだった。時世の政治経済状況を把握し、その中でVIPがどういった立場や役割でホテルを利用するのか、そこまで読み込んで対応にあたる。ただの案内係、しかしその積み上げが顧客満足を高めていく。

一見無駄に思える小さなことでも、徹底することが価値(クオリティ)を生む。会社の中の一つの歯車であっても、日本や世界そして時代とつながっている大事な仕事なのだ。若いときに学べたことが財産となっている。



いつまでも可愛いで

卒業生からのお便り

母の手を受け継いで

昭和42年卒 岡田喜志子

店先でメロンを見ると、頭
の隅に祖母の「手」が見えて
きます。夏の縁側で、祖母が
私たちに瓜の皮をむいている
ときの瓜をもつ手と包丁を持
つ手。細く長く少し骨ばって
いる「手」。同時に思い出す
のは、父が祖母とまったく同
じ手つきでリングゴの皮をむい
ているのを見た時の驚き。幼

い私は、同じ手が私にもある
のかと、誰もいない処でリン
ゴの皮をむいてみました。
今、私は、つとめて母の手
元を思い出しています。母と
盃山で摘んだゴンパを使った
団子を捏ねる手。ワラビや莖
立ちを手折る手。茹でて水に
さわした里芋を掬いあげる優
しい手加減など。母と同じ手

つきで調理すると、不思議な
ことに、素朴な家庭料理が、
おいしく出来上がります。
父ではない母の手を使って、
山形に伝わる家庭料理のコツ
を伝える活動をしています。
友達の「ナス漬けのつけ方
教えて！」の一言から始めた
「スローフード料理講座」は、
山形のばあちゃん達の驚くほ
ど合理的な調理法と時間の使
い方を学びながら、消えつつ
ある在来作物とそれらの食生
産物の作り方を伝える勉強会
です。嚶鳴同窓生も数人参加
して下さり、さりげないご助
力をいただいています。
在来作物の特徴を生かした



右が岡田さん

昔からの方法で調理するのは、
なんと楽しいことでしょう。
話を聞きながら、食材の下ご
しらえをしなが、皆さんの
顔が優しくなっています。
やさしい顔のまま、家族と
一緒に夕食を、味わい楽しむ
山形人が増えることを願って
います。

50代から健康でワクワク生きる！

昭和52年卒 原田麻美子

同窓会の皆様方、お元気で
お過ごしのことと存じます。家庭
の事情もあり、県立天童高等学
校を52歳で退職しましたが、そ
の後、丹田（たんでん）呼吸法
セラピスト（創始者）藤麻美子
としてミラクルレインボー・ス
クールを立ち上げました。早や
4年目を迎えておりますが、お
陰さまで山形のみならず、仙台
や東京・横浜でも定期的にセミ
ナーを開催したり、人材育成を
行ったりしております。

でいくうちに、呼吸法によって
自律神経が整えられ、万病が改
善される事を身を持って体験
しました。たった10呼吸で脳波
をα波に変化させ、リラックス
させる事を、脳波測定器を通し
て発見しました。
教室では、呼吸法の前にハ
ワイアンミュージックで丹田
ダンスをして体幹運動などを
行ったり、アロマを用いたり
します。呼吸法をベースに、心
身体、スピリットを健康にし、
幸せにワクワク生きる方法を
お伝えしております。
さらに2年前より、日本統



ハワイアンミュージックで幸せ脳へ
丹田呼吸法セラピー教室
(右から2人目が原田さん)

肩こりや腰痛、虚弱体質を改善
するために様々なことを学ん

合医療学会山形県支部副支部
長という予期しない大役を仰
せつかり、山大医学部や医療関
係者、療法士の方々と連携しな
がら、次世代の統合医療のあり
方を模索しつつ、研修会や定期
大会を開催しております。西洋
医療に限界をお感じになって
らっしゃる方、是非一緒に統
合医療を学んでみませんか？
他にも、作家本田健認定「ラ
イフワークカウンスラー」(進
路相談)などで、ワクワク生
きるお手伝いをしております。

ミラクルレインボー・スクール
検索

自然と、島と、暮らす

平成20年卒 小川ひかり

大学で民俗学に出会い、そ
の調査先として訪れた飛島
同じ山形県内でも庄内は縁遠
い場所でしたが、島の魅力に
取り付かれ、大学4年間は通
い詰めでした。大学を出てこ
のまま疎遠になるのは嫌だ
なと思っていたところ、丁度
島で就職させていただくこと
になり、卒業と同時に島で暮
らし始めました。飛島の人口
は約230名。平均年齢は70
歳と、超高齢社会です。酒田
港から定期船が一日二往復、
夏場は一日二往復しています。
基幹産業はもちろん漁業です。
島にはコンビニも信号機もあ
りません。
飛島は何もない島。そこに
はただ、島にとつての当たり
前の生活があるだけです。風
が良ければ船を出し、旬の海
産物を獲る。裏の山の畑へ登
り、小さな畑を耕す。雨が降
れば、漁具を
修繕したり、
近所へお茶飲
みに行ったり。
時間にとらわ
れない生き方
です。時々、
船に乗せても

らいます。朝の光に輝く海を、
風を切つて走るのは気持ち
良いです。漁のお手伝いをし
て、海の底から大きな鯛が姿
を現した時は感激でした。両
手でも抱えきれないほど、大
きな鯛です。鯛飯を炊いて、
美味しくいただきました。
飛島にいるのが面白いと思
ううちは、島で暮らそうと思
います。今ようやく三年目
ですが、まだまだ知らないこと
わくわくすることがいっぱい
です。今後も仕事の傍ら、島
で民俗学を続けていくつもり
です。いずれ民俗学で食べて
いけたらなあ、と密かに思っ
ています。若気の至りかもし
れませんが、ここで暮らすこ
とに後悔はしないでしよう。
今出来ること、今しか出来な
いことに全力で取り組んでい
きたいです。



6月のタイ漁にて

私達の学舎

十八に、永遠に
幸せな未来予想図を抱いて

昭和47年卒 阿部カズ子

さくらんぼも赤く色
付き、初夏の風が爽や
かな平成25年6月1日。
「第7回十八の会」還
暦を祝う会」が、「天
童温泉・滝の湯」にて、
初め、恩師4名を含む82名の参
加があり、プログラムには、1ヵ月
前の母校の満開の桜の写真が添えら
れていて、心は一気に青春時代へ。
神事（お祓い）の後は、還暦記
念コンサート。チェリーレッドの
ドレスをまとった石幡暁美さん
によるバイオリン演奏。「未来予想
図」

「カンタービレ」「タイスの瞑
想曲」など、次々に奏でられる名
曲の数々。心が洗われ、みんなうっ
とりと聴き入っていました。
次は、緑滴のお庭に出での記念撮
影。新緑に包まれた乙女達は、一人
ひとりが薔薇の花のように、美しく
輝いていました。

その後、懇談に入り、久しぶりの
再会に、あちこちでにぎやかな笑い
声がうず巻き、大盛り上がり。つい
には、大広間で、御膳を巧みに避け
ながら、花笠踊りの大行列。ステー
ジでは、何と、ダイナミックな笠回
し。「ヤッショ、マカショ」の掛
け声も高らかに、息が切れる
まで踊りまくり、真に、青春
真つ只中なのでした。

高揚さめやらぬ中のお泊
まりは、まるで修学旅行中。
夜ふけまで、楽しく語り合
いました。
無事に還暦を迎える事が
出来、旧友と互いに祝ひ合
える幸せに感謝しながら、
折り返しの人生の道歩ん
でいく私達。それぞれが、
幸せな「未来予想図」を抱
いて。



石幡暁美さん

Information — お知らせ —

★鈴木幸子さん（昭和36年卒）・長岡玲子さん（同）が紙芝居『こんべいとおおんちゃん』を発表されました。

★昭和36年卒1組の皆様から5万円ご寄付いただきました。



★桜田岳代子さん（昭和37年卒）が『風よ一人並みであること』（一粒社）を出版されました。



★中津留佳代さん（昭和54年卒）が向田邦子の脚本をもとに後半を小説化した『完本寺内貫太郎一家』（新潮社）が出版されました。



●平成27年度 米寿・喜寿のお祝いについて

米寿…昭和20年高女
喜寿…昭和32年山形西高等学校

以上の方が該当学年となります。

嚶鳴同窓会役員

相澤 榮	顧問	高女36	松尾 尊子	評議員	昭和35 西高6	齊藤 明美	評議員	昭和54 西高25
中原えい子	顧問	高女42	長岡 玲子	評議員	昭和36 西高7	齊藤 良枝	評議員	昭和55 西高26
佐藤 伶子	顧問	西高1	古瀬 孝子	評議員	昭和37 西高8	神保 由美	評議員	昭和56 西高27
吉田 敏明	学校長・顧問		小松 節子	評議員	昭和38 西高9	富樫由美子	評議員	昭和57 西高28
武田美津子	会長	昭和39 西高10	岡崎 信子	評議員	昭和39 西高10	須藤 祐子	評議員	昭和58 西高29
佐々木智子	副会長	昭和41 西高12	菅野 ふみ	評議員	昭和40 西高11	丹野 文子	評議員	昭和59 西高30
清野 和子	副会長	昭和44 西高15	渡辺三枝子	評議員	昭和42 西高13	會津菜穂子	評議員	昭和60 西高31
笠井ひで子	東京支部長	昭和44 西高15	鈴木よし子	評議員	昭和43 西高14	桑山久爾子	評議員	昭和61 西高32
小野クナ子	寒河江支部長	昭和41 西高12	佐藤 淳子	評議員	昭和45 西高16	鈴木 淳子	評議員	昭和62 西高33
中村 郁	監事	昭和34 西高5	青木 智子	評議員	昭和46 西高17	武田 靖子	評議員	昭和63 西高34
中山 恭子	監事	昭和48 西高19	奥山 潤子	評議員	昭和47 西高18	武田由利子	評議員	平成元 西高35
渡辺 民子	評議員	昭和30 西高1	浜田 文子	評議員	昭和49 西高20	氏家美由紀	評議員	平成2 西高36
松浦 英子	評議員	昭和31 西高2	小笠原悦子	評議員	昭和50 西高21	川田 清子	評議員	平成3 西高37
片桐ユキ子	評議員	昭和32 西高3	田中 裕子	評議員	昭和51 西高22	鈴木 千尋	評議員	平成4 西高38
山田 勝子	評議員	昭和33 西高4	秋葉 弘子	評議員	昭和52 西高23	菊池 貴子	評議員	平成5 西高39
佐藤 暘子	評議員	昭和34 西高5	富樫 京美	評議員	昭和53 西高24			

平成25年度 主行事務報告

平成25年度事業報告

- 4月24日(水) 平成24年度会計監査
本校嚶鳴会館事務室
- 5月9日(木) 第1回評議員会
本校嚶鳴会館食堂
- 5月23日(木) 嚶鳴三会長副会長会
- 6月9日(日) 東京支部総会
ホテルオークラ東京
- 6月25日(火) 創立115周年記念式典、合唱コンクール
やまぎんホール
- 8月8日(木) 第2回評議員会・第1回クラス幹事会
本校図書館、101教室
- 11月17日(日) 同窓会総会
パレスグランデール

平成26年

- 2月28日(金) 同窓会入会式
本校嚶鳴会館和室
- 3月1日(土) 第60回卒業証書授与式
本校体育館
- 3月26日(水) 三役引継ぎ会
本校嚶鳴会館事務室

平成25年度 維持会費納入状況 (平成26年6月10日現在・納入者氏名省略)

◎平成25年4月1日～平成26年6月10日までに納入されたもの
※199クラス分 597,000円

◎平成21年度分
西高 昭和42年 5組 昭和50年 1組 昭和61年 7組

◎平成22年度分
西高 昭和42年 5組 昭和50年 1組 昭和61年 7組

◎平成23年度分
西高 昭和42年 5組 昭和50年 1組 昭和61年 7組

◎平成24年度分
西高 昭和42年 5組 昭和50年 1組 昭和51年 1・2・3・5・6組
昭和53年 1～6組 昭和59年 1組 昭和61年 7組

◎平成25年度分

西高 昭和30年 1～4組	西高 昭和49年 1・3組
昭和31年 1～4組	昭和50年 1・2・3・4・6組
昭和34年 1～4組	昭和51年 1～6組
昭和35年 1～5組	昭和53年 1～6組
昭和36年 1～5組	昭和55年 1～6組
昭和37年 1～5組	昭和58年 1～5組
昭和38年 1～5組	昭和59年 1組
昭和39年 1～5組	昭和60年 1～6組
昭和40年 1～6組	昭和61年 3・4・7組
昭和41年 1～6組	昭和62年 1～7組
昭和42年 2・4・5・6組	昭和63年 1～7組
昭和43年 1～6組	平成元年 1～7組
昭和44年 1・2・3・4・6組	平成2年 1～7組
昭和45年 1・2・3・5・6組	平成3年 1・2・3・5・6・7組
昭和46年 1～6組	平成4年 1・2・3・5・6・7組
昭和47年 1～6組	平成5年 1～7組
昭和48年 2～5組	

◎平成25年度分で平成25年3月31日までに前納されたもの

西高 昭和32年 1～4組	西高 昭和49年 4・5組
昭和33年 1～4組	昭和58年 6組
昭和45年 4組	平成6年～25年 全クラス

ご冥福をお祈り申し上げます

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------------|------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------------|-------------------|------------------|
| 阿部昌司 (旧職員) | 大久保(新関)宏子 (昭35西高) | 鈴木(橋倉)洋子 (昭30西高) | 丹野(丹野)いく (昭29南高) | 高山(古沢)とく (昭19高女) | 加藤(吉田)智子 (昭20高女) | 井上(武田)桂子 (昭33西高) | 石塚(金子)モト子 (昭32西高) | 細梅(柴崎)恵子 (昭26南高) | 安藤(柏倉)美津 (昭19高女) | 千代MAZIA RZ(松浦) (昭24高女) | 工藤(喜早)慶子 (昭16家政) | 林(林)イチ子 (昭15高女) | 高橋(横尾)初枝 (昭15高女) | 森本(森本)その (昭9高女) | 金峰(棚井)誠子 (昭32西高) | 斉藤(秋山)美枝 (昭34西高) | 鈴木(田崎)和子 (昭28南高) | 佐藤(鈴木)和子 (昭34西高) | 大内(名和)寿子 (昭18師二) | 野々村(大久保)チヤ子 (昭10高女) | 早川(五十嵐)育子 (昭37西高) | 高橋(鈴木)良子 (昭31西高) |
|------------|-------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|------------------------|------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------------|-------------------|------------------|



○会報担当校内理事
叶村山智佳子
内山有希絵

○会報編集委員(評議員)
古瀬孝子
青木智子
田中裕子
富由美子
菊池貴子

編集後記

昨年創立115周年記念で植樹したアカシアが、涼しげに風にそよいでおります。

校歌に詠われている「アカシアの道」に因み、会報編集委員の随想欄を『並木道』と名付けた事が昨日の事のように思い出され、感慨一入です。

在校時代のアカシアの並木に想いを馳せ、白い花を咲かせてくれる日が待ち遠しい限りです。

(昭和46年卒 青木 智子)



同窓会報編集委員

同窓会報へ～
お便りお待ちしております

宛先/〒990-2492
山形市鉄砲町1-15-64 山形西高校内
嚶鳴同窓会報編集室
「同窓生からのお便り」係

お願い/卒業年度、住所、電話番号をご記入の上お送りください。

問合せ/TEL 023(641)3504
FAX 023(641)3516
山形西高校内 同窓会報担当まで

学校ホームページ/
<http://yamanishi.webpage21a.jp/>



平成25年度 嚶鳴同窓会基本金決算

1 収入の部

(単位:円)

1. 前年度繰越金	12,341,970
2. 総会ご芳志	535,000
3. 総会残金	12,001
4. 志田周子氏映画化賛助募金	12,764
5. パッチ立替分(25年度分)	80,000
6. 定期預金利息	1,480
7. 普通預金利息	772
合計	12,983,987

(内、定期預金 7,400,000)

2 支出の部

(単位:円)

1. 26年度総会補助	300,000
2. 総会経費(写真代・役員会・額代)	232,802
3. 賀寿記念品代	367,500
4. 勤続10年表彰記念品	30,000
5. アカシア記念植樹関係経費	382,450
6. 志田周子氏映画化賛助募金	100,000
7. 事務費(振り込み手数料)	1,194
8. 予備費(阿部校長表彰祝金)	10,000
合計	1,423,946

3 差引残高 12,983,987円 - 1,423,946円 = 11,560,041円
 定期預金 7,400,000円
 普通預金 4,160,041円

平成25年度 経常費決算

1 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	増減(△)	摘要
入会費	699,000	699,000	0	3,000円×233人(H24年度卒業生分)
会費	1,299,000	1,299,000	0	699,000円(3,000円×233人:会費20年分)+600,000円(維持会費より毎年繰り入れ分)
繰越金	24,251	24,251	0	24年度残金
雑収入	49	96	47	預金利子
計	2,022,300	2,022,347	47	

2 支出の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算残額(△)	摘要
総会費	820,000	820,000	0	総会、東京・寒河江支部総会補助
会議費	170,000	125,597	44,403	評議員会、クラス幹事会など
後援費	40,000	35,000	5,000	会員後援費
記念品費	80,000	80,000	0	新入会員の記念品(ピンバッチ)代
印刷発行費	310,000	261,450	48,550	会報印刷、封筒印刷
事務費	8,000	787	7,213	ファイル・宛名ラベルなど
通信費	100,000	68,420	31,580	連絡通信用葉書、切手、郵送料など
慶弔費	80,000	56,398	23,602	弔電、祝電など
交通費	260,000	223,880	36,120	三役交通費など
諸費	125,000	115,890	9,110	入会式経費、全国大会出場部餞別など
予備費	29,300	0	29,300	
計	2,022,300	1,787,422	234,878	

3 差引残高

(総収入) 2,022,347円 - (総支出) 1,787,422円 = (残高) 234,925円

平成26年度 経常費予算

1 収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
入会費	714,000	699,000	15,000	3,000円×238人(H25年度卒業生分)
会費	1,314,000	1,299,000	15,000	714,000円(3,000円×238人:会費20年分)+600,000円(維持会費より毎年繰り入れ分)
繰越金	234,925	24,251	210,674	25年度残金
雑収入	75	49	26	預金利子
計	2,263,000	2,022,300	240,700	

2 支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
総会費	790,000	820,000	△30,000	総会、東京支部総会
会議費	200,000	170,000	30,000	評議員会、クラス幹事会など
後援費	60,000	40,000	20,000	会員後援費
記念品費	80,000	80,000	0	新入会員の記念品(ピンバッチ)代
印刷発行費	320,000	310,000	10,000	会報印刷、封筒印刷
事務費	8,000	8,000	0	宛名ラベルなど
通信費	120,000	100,000	20,000	連絡通信用葉書、切手、郵送料など
慶弔費	100,000	80,000	20,000	弔電、祝電など
交通費	270,000	260,000	10,000	三役交通費など
諸費	150,000	125,000	25,000	入会式経費、全国大会出場部餞別など
予備費	165,000	29,300	135,700	
計	2,263,000	2,022,300	240,700	